

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2018年			
1月 19日(金)	環境試料の多環芳香族炭化水素分析講習会	金沢	本号
27日(土)	第5回日本水環境学会東北支部研究発表会	仙台	本号
27日(土)	第52回水環境フォーラム山口	山口	本号
28日(日)	IWA-YWP Water-Wise Innovation Challenge! ～Mission for Phnom Penh Cambodia～	京都	本号
2月 2日(金)	第63回日本水環境学会セミナー「第8次水質総量削減～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～」	東京	本号
2日(金)	第30回 CES21 講演会 水処理技術の基礎と実践－排水処理から有価物回収まで－	大阪	本号
3月 6日(火)	2017年度日本水環境学会東北支部 第4回「水辺のすこやかさ指標」ワークショップ	仙台	本号
6日(火)	17-1 高分子と水・分離に関する研究 2017年度界面動電現象研究会 コロイドと高分子の科学の歴史を考える	東京	本号
10日(土)	平成29年度日本水環境学会九州沖縄支部 研究発表会・総会	熊本	本号
14日(水)	第52回日本水環境学会年会併催 Japan-YWP ワークショップ「テクノロジーマッピング－水処理技術の向かう先は－」	札幌	本号
15日(木)～17日(土)	第52回日本水環境学会年会	札幌	本号
15日(木)	第52回日本水環境学会年会併催 Japan-YWP セミナー「発明が社会実装されるまで」	札幌	本号
17日(土)	第52回日本水環境学会年会併催 全国環境研協議会研究集会	札幌	本号
5月 26日(土)～27日(日)	第20回マリンバイオテクノロジー学会大会	宮崎	本号
7月 14日(土)～15日(日)	WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018)	愛媛	本号
9月 4日(火)～6日(木)	第21回日本水環境学会シンポジウム	島根	
16日(日)～21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	
2019年			
3月	第53回日本水環境学会年会	山梨	

水環境学会誌原著論文編『高速審査月間』のお知らせ

水環境学会誌原著論文編（以下、和文誌）では本年も3月～5月の3ヶ月間を『高速審査月間』とし、学会員の皆様からの論文投稿を広く募集いたします。『高速審査月間』では、通常時に比べて体制を強化して査読の迅速化をはかり、投稿受付から1ヶ月以内に1回目の査読結果をお返しいたします。

日頃、研究活動に勤しんでおられる学会員の皆様に、各種プロジェクトの報告書作成に向けて、あるいは学位取得に向けて、スケジュールが組みやすく魅力的なサービスになると考えております。また、3月に開催される年会でご発表される内容をブラッシュアップし、広く学会員の皆様に成果を還元していただく上でも無理のないスケジュールになっているものと考えております。ぜひ、この機会をご活用いただき、貴重なご研究の成果を水環境学会誌でご発表ください。

編集委員長 藤原 拓

第52回日本水環境学会年会への参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2018年3月15日（木）～17日（土）に北海道札幌市にて第52回日本水環境学会年会が開催されます。年会の参加予約申込締切は2018年2月20日（火）24:00です。

年会参加予定者につきましては、2018年2月13日（火）までに入会申し込み手続きをしてくだされれば会員価格でご参加いただけます。

インターネットでの入会申し込み手続き、年度会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。

入会案内 URL : <http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

本会関連行事

第52回日本水環境学会年会 参加申し込み案内

第52回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の参加申し込みをお待ちしております。

1. 概要

内容 一般研究発表

（口頭発表とポスター発表のセッション）

期日 2018年3月15日（木）～17日（土）3日間

会場 北海道大学工学部

（札幌市北区北13条西8丁目）

交通 JR札幌駅から徒歩約20分

または札幌地下鉄南北線北12条駅から徒歩約10分

詳細は <http://www.eng.hokudai.ac.jp/access/>

内容 一般研究発表（口頭発表とポスター発表）

などが下記の要領で行われます。ポスター発表のコアタイムは15日と16日に分けて実施されます。年会優秀発表賞（クリタ賞）の審査対象の発表は16日、年会学生ポスタ

ー発表賞（ライオン賞）の審査対象の発表は15日です。なお、3月15日および16日には「水質計測・水処理技術展2018」が併催されます。

3月15日（木）：口頭発表、ポスター発表、ライオン賞の発表と審査、ランチョンセミナー、見学会

3月16日（金）：口頭発表、ポスター発表、クリタ賞の発表と審査、特別講演、表彰式（水環境文化賞・みじん子賞・クリタ賞・ライオン賞・国際活動賞（いであ活動賞）・国際招聘賞（JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award））、ランチョンセミナー、見学会、懇親会

3月17日（土）：口頭発表、見学会、団体会員説明会

2. 年会参加申し込み案内

事前の参加申し込み（予約申し込み）にご協力をお願いいたします。すでに発表を申し込まれた方も、改めて参加申し込みが必要です。なお、発表申し込みやクリタ賞、ライオン賞の募集は終了しました。

(1) 予約申し込み方法

本会のホームページ (<http://www.jswe.or.jp/>) の「イベント」の「年会」にある『年会への参加のお申し込み』でお申し込みください。予約申し込みの期限は **2018年2月20日(火)** (送信有効) です。これ以降は年会当日に会場での受付となります。なお、インターネットによる予約申し込みについて不都合のある方は、下記の学会事務局、年会担当までお問い合わせください。

(2) 年会参加費および懇親会費

参加費および懇親会費は右記のとおりです。

予約申し込みの場合は、申し込みと共に参加費と懇親会費の合計を下記のいずれかの指定口座に送金ください。振込み手数料はご負担ください。また、郵便振込用紙等の通信欄に申込番号を明記し、送金者名は申込時の名義と同じにしてください。公費等による支払いで送金者名が機関や機関代表者となる場合には、正確にご記入ください。請求書が必要な場合は申込時にその旨及び宛先、送付先をご記入ください。

現金書留も受け付けておりますが、その場合は学会事務局の年会担当に、予約申し込み後に送信される「参加申し込み受付完了」のページを印刷し、同封してお送りください。書留・郵送料はご負担ください。

2018年2月28日(水)までにご送金を確認できない場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。ご入金確認までに郵便振替(ゆうちょ銀行への送金含む)は2~7日、三菱東京UFJ銀行への振込は1~3日かかります。

参加費は以下の通りです。2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準となり、冊子版をご希望の場合は参加費が増額になります。また2015年度から、年会自体には参加せず年会参加者に同伴して懇親会に参加する家族の懇親会参加費を設定いたしました(当日申込のみ)。

		予約 申し込み	年会当日 申し込み	
参加費 (冊子版なし)	正会員(不課税)	6,000円	7,000円	
	学生会員(不課税)	3,000円	4,000円	
	非会員 一般	19,000円	20,000円	
	非会員 学生 (課税, 税込み)	8,000円	9,000円	
参加費 (冊子版有)	正会員(不課税)	9,000円	10,000円	
	学生会員(不課税)	6,000円	7,000円	
	非会員 一般	22,000円	23,000円	
	非会員 学生 (課税, 税込み)	11,000円	12,000円	
懇親会費 (課税, 税込み)	正会員	3,800円	5,000円	
	学生会員	3,200円	4,000円	
	非会員	一般	5,000円	6,000円
		学生	4,000円	5,000円
	同伴家族	小学生以下	—	無料
	学生・一般	—	5,000円	

銀行口座

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金
口座番号: 4948527
名義: 公益社団法人日本水環境学会年会口
名義カナ: シヤ) ニホンミズカンキョウガツカイ
ネンカイグチ

振替口座(ゆうちょ銀行)

口座番号: 00180-5-564127
加入者名: 公益社団法人日本水環境学会

(3) 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になり、予約参加登録済みの方には講演集ダウンロードのためのIDとPWをE-mailにてお知らせします。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前を予定しています。当日参加申込の方には、当日登録時にIDとPWをお知らせします。

年会会場での印刷サービスはありません。

ただし、プログラム等については冊子版を用意します。

また、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定していますが、印刷数には限りがありますので、確実な入手をご希望の方は予約参加登録をお願いします。

(4) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金の確認についてはE-mailにてお知らせします。また、そのE-mailが参加証/冊子版講演集引換券(予約者のみ)となりますので、それを印刷してご持参ください。なお、複数名で一括申し込みされた場合は、お手数ですが参加者は各自1枚ずつ印刷したものをご持参願います。

(5) 懇親会について

懇親会の開催概要は以下の通りです。皆様奮ってご参加ください。なお、懇親会会場の収容人数に限りがありますので、予約参加申込をお勧めします。予約参加者数によっては、当日参加をお受けできない場合があります。何卒ご了承ください。

日時 2018年3月16日(金) 18:30~20:00

会場 キリンビール園 本館 中島公園店

(札幌市中央区南10条西1丁目1-60)

地下鉄南北線中島公園駅1番出口徒歩2分

<http://www.kirinbeer-en.co.jp/>

3. 宿泊・昼食などのご案内

宿泊の斡旋は行っておりません。札幌市内は慢性的に混みあう恐れがありますので、早めの手配をお願いします。

昼食につきましては、開催期間中の全日程において大学内の食堂、売店等の利用が可能です。

4. 保育室の設置

会場から徒歩約10分のところにある保育所を無料で利

用いただけます。お問い合わせ・お申込みは takuji@jswe.or.jp までお願いします。

5. 発表される方へ

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿(講演要旨原稿)を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

発表申込が日本語の場合は講演要旨も日本語で、英語の場合は講演要旨も英語で作成してください。講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名(フリガナ、漢字)の間違いについても十分ご留意のうえ、間違いがあった場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jp に速やかにご連絡ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚(図表も含む)とします。ファイルサイズの上限は800kBです。

提出方法 学会ホームページよりご提出ください。

個人会員(会員専用ページ):

(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員:

(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

提出期限 2018年1月18日(木)アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

口頭発表はパワーポイントの発表を原則とします。1演題につき発表10分、質疑応答5分を予定しています。講演日時は学会ウェブサイトに掲載予定です。ポスターの大きさは横85cm×縦175cm以内とし、年会開催期間中の指定期間、掲示していただきます。ポスターセッションの一般発表コアタイムは、15日の13:30~15:00か16日の10:45~12:15のいずれか指定の日時(1日のみ)です。クリタ賞の審査対象発表のコアタイムは2日目の10:45~12:15、ライオン賞の審査対象発表のコアタイムは15日の13:30~15:00と16:45~17:45です。コアタイムが変更になっていますのでご注意ください。

登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

6. 研究集会について

年会期間中に行う場合は、会場内に場所を確保いたしますので下記にお問い合わせください。

研究集会についての問い合わせ先

佐藤 久 北海道大学大学院 工学研究院

E-mail: qsatoh@eng.hokudai.ac.jp

7. 特別講演のご案内

講師として横井成尚氏(サッポロビール株式会社 取締役 執行役員)、西川浩一氏(ニッカウキスキー北海道工場長)の講演を予定しています。

期 日 2018年3月16日(金)15:15~16:15

会 場 北海道大学工学部(年会会場)

参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

8. 各種セミナーなど

下記の2つの学会主催ランチョンセミナーが予定されています。

1) 学生ならびに会員向けランチョンセミナー「水環境分野で働く女性たち」(男女共同参画推進委員会、北海道支部協賛)

日 時 2018年3月15日(木)12:20~13:30(予定)

会 場 年会会場(部屋は未定)

定 員 40名(事前申込制、予定)

参加費 無料(お弁当、飲み物付き)

申込方法 男女共同参画推進委員会 jswe-eg@jswe.or.jp に 氏名、所属、年齢(学生の方は学年)を記載の上ご連絡ください。

2) 学生向けランチョンセミナー「ビジネスガイダンス」(産官学協力委員会)

日 時 2017年3月16日(金)12:20~13:30(予定)

会 場 年会会場(部屋は未定)

定 員 100名(先着順、予定)

参加費 無料(お弁当、飲み物付き)

申込方法 年会受付にて3月15日(木)より申し込みを受け付けます。受付時にチケットをお渡しします。

9. 見学会のご案内

特別講演の内容と関連した場所を見学していただきます。

コース1 サッポロビール北海道工場

(北海道恵庭市戸磯542-1)

コース2 ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所

(北海道余市郡余市町黒川町7-6)

日 時 学会期間中の3日間全日の午後

交通手段 JR

お問い合わせ・申し込み

E-mail: excursion@jswe.or.jp

10. 団体(賛助)会員による団体説明会

年会3日目:2018年3月17日(土)に団体(賛助)会員による学生向けの団体説明会を開催予定です。

詳細は2月号以降の学会誌及び学会HPに掲載予定です。

11. 年会参加証明書の発行について

継続技術者教育(CPD)の観点から、要望に基づき年会参加証明書を発行します。年会参加証明書の発行を希望される方は、当日聴講開始時と終了時に、CPD受付においてその旨を申し出てください。

12. 問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会第51回年会係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201号
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

第52回日本水環境学会年会併催行事

1. Japan-YWP ワークショップ

「テクノロジーマッピングー水処理技術の向かう先はー」

主催 Japan-YWP
期日 2018年3月14日(水) 14:00~18:00
場所 北海道大学(会場調整中)
(札幌市北区北13条西8丁目)

プログラム

水環境分野でこれまでに取り組んできた問題と、その問題を解決した技術を振り返った上で、30年先に向けて、今後起こりうる問題と求められる技術について議論する機会を設けます。

※詳細は2月号以降に掲載いたします。

参加費 無料(原則、事前申し込みをお願いします。当日参加も可能です)

申し込み・問い合わせ先

Japan-YWP 共同代表 山村 寛(中央大学)
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27
Tel: 03-3817-7257
E-mail: yamamura.10x@g.chuo-u.ac.jp

2. Japan-YWP セミナー「発明が社会実装されるまで」

主催 Japan-YWP
期日 2018年3月15日(木) 18:20~20:00
場所 北海道大学(会場調整中)
(札幌市北区北13条西8丁目)

プログラム

研究成果が実際に社会実装された事例について、当事者から経緯や実現できた要因について紹介していただき、研究成果を社会で利用するために必要なことについて理解を深めようという企画です。

※詳細は2月号以降に掲載いたします。また、セミナー終了後に懇親会を予定しております。詳細はお問い合わせください。

参加申し込み方法

申込不要。当日会場までお越しください。

参加費 無料

問い合わせ先

Japan-YWP 運営委員 栗田宗大(電力中央研究所)
〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子 1646
Tel: 070-6978-5591
E-mail: tokikuri@criepi.denken.or.jp

3. 全国環境研協議会研究集会

第52回日本水環境学会年会において、水環境分野の行

政施策や調査研究の一層の充実を図るため研究集会を開催します。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

主催 全国環境研協議会
日時 2018年3月17日(土) 9:00~12:00
場所 第52回日本水環境学会年会会場
北海道大学工学部(北海道札幌市)
内容 第1部 講演

門上希和夫氏(北九州市立大学)

中島大介氏(国立環境研究所)

山西博幸氏(佐賀大学)による計3題

第2部 一般発表(全国環境研協議会会員による発表5題)(予定)

(テーマ) 各地方環境研究所における水質事故等で解決に導いた事例紹介や水質環境基準項目の測定方法に関する研究について

参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない、また、事前の参加申し込みがない場合でも、参加は可能です。)

問い合わせ先

全国環境研協議会企画部会事務局
佐賀県環境センター(担当:池田利記子)
Tel: 0952-30-1616 Fax: 0952-32-5940
E-mail: zenkankenkikaku@pref.saga.lg.jp

Water and Environment Technology Conference (WET2018)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主催 日本水環境学会
期日 2018年7月14日(土)~15日(日)
場所 愛媛大学(愛媛県松山市)
交通 市内電車環状線「赤十字病院前」から徒歩5分
内容 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表
発表申込方法

発表申し込みは本会ホームページ(URL: <http://www.jswe.or.jp>)からのみ受け付けます。申し込み開始は2018年2月中旬を予定しています。トップページのWET2018のパナーより発表申し込みのページにお進みいただき、必要事項および講演要旨(150語以上200語以内、謝辞を含む。登壇者に下線を引くこと。キーワードおよび図表は不要)を記入の上、送信してください。1人の登壇者が2つ以上の発表を行うことは認めておりません。申し込み期限は2018年4月26日(木)24:00(JST(日本標準時))、以下の期日は全て同様です。発表可と判断された場合、その通知を5月17日(木)までにお送りします。なお、WET2018で配布される講演要旨集には要旨

のみが掲載されます（提出された要旨にキーワードや図表が含まれていた場合、要旨集では削除されます）。

論文投稿方法

JWET への論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って 2018 年 6 月 29 日（金）までに Web 上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2018 年 8 月 29 日（水）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2018 で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

テーマ（下記に限りません）

- ・ Analysis of water and environment quality
- ・ Modeling of water and environment
- ・ Treatment of water and wastewater
- ・ Restoration of contaminated environment
- ・ Hazardous chemicals and waste management
- ・ Public health and risk assessment
- ・ Environmental education and training
- ・ Water reclamation

表彰

Excellent Poster Award を WET2018 の発表者すべてから、Excellent Paper Award を JWET へ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録

WET2018 の web ページにて、Early-bird registration を 2018 年 6 月 21 日（木）24:00 まで受け付けます。以後は当日受付となります。登壇者（発表申込者）は自動的に事前予約扱いになりますので、事前予約は不要です。いずれの場合も、参加費は当日受付にてお支払いください。

参加費

一般

	Participant	Speaker
Early-bird	5,000 JPY	5,000 JPY
On site	7,000 JPY	5,000 JPY

学生

	Participant	Speaker
Early-bird	3,000 JPY	3,000 JPY
On site	4,000 JPY	3,000 JPY

問い合わせ先

WET 事務局

Email : wet@jswe.or.jp, Fax : 03-3632-5352

第 63 回日本水環境学会セミナーのご案内 「第 8 次水質総量削減 ～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～」

これまでの閉鎖性海域における水質管理は、公害の時代を経て水質総量規制（水質総量削減）という形で実施されてきた。しかしながら、近年漁獲量の減少や海苔の色落ちの原因の 1 つとして、貧栄養化（無機態窒素・リ

ンの減少）の進行が指摘されている。望ましい生態系という観点からも、きれいで豊かな海とは何かを考え直す時期に来ていると考えられる。本セミナーでは多方面から講師をお呼びし、きれいで豊かな海と水質総量削減について考える機会を提供する。

主催 日本水環境学会

期日 2018 年 2 月 2 日（金）9:55～16:40

場所 自動車会館大会議室（東京都千代田区九段南）

プログラム

- 9:20～9:55 受付
- 9:55～10:00 開会の挨拶
- 10:00～11:00 第 8 次水質総量削減と今後について
放送大学理事・副学長 岡田光正
- 11:10～12:10 カキ等の漁業生産に関する里海再生や藻場・干潟の再生について
(公財) 国際エメックスセンター理事 柳哲雄

～昼休み～

- 13:10～14:10 新たな海洋基本計画における水産の課題について

水産大学校代表 鷺尾圭司

- 14:20～15:20 健全な水環境の創出に向けた下水道の取組について

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 岩井聖

- 15:30～16:30 兵庫県の取組～沿岸域の再生、創出と水質の保全、管理の取組～

兵庫県環境部長 秋山和裕

- 16:30～16:40 閉会の挨拶

* 講師の都合等で一部変更となる場合があります。

参加費（税込）

会員 7,000 円, 学生会員 3,000 円,

非会員 15,000 円, 学生非会員 4,000 円

定員 先着 130 名

申込方法 Fax, E-mail, 参加申込書またはハガキに①

参加者氏名（フリガナ）②会員・非会員の別③会員の場合

は会員番号④連絡先（所属団体名、住所および電話・

Fax 番号, E-mail アドレス）をご記入の上、下記宛てお

申し込みください。また、参加費を 1 月 25 日までに振

込みください。入金を確認後、参加証（ハガキ）をお送

りいたします。

参加費振込先

三菱東京 UFJ 銀行 市ヶ谷支店（普通）0754950

（公社）日本水環境学会セミナー口

シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づきセ

ミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行を希望

される方は当日受付においてその旨を申し出てください。

申し込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 セミナー係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : togawa@jswe.or.jp

第 5 回日本水環境学会東北支部研究発表会

日本水環境学会東北支部では支部会員および関連団体の技術研鑽と情報交換を目的に第 5 回水環境学会東北支部研究発表会を下記の通り開催します。とくに大学学部生、大学院生、若手の社会人研究者の方々のご発表を歓迎します。また、昨年度に引き続き、日頃より地域の水環境問題に取り組まれている市民団体や NPO、高校生のみなさんも、会員の推薦があれば発表機会を提供します。なお本研究発表会は第 10 回廃棄物資源循環学会東北支部研究発表会との共催となります。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

共 催 日本水環境学会東北支部、廃棄物資源循環学会東北支部

日 時 2018 年 1 月 27 日 (土) 8:50~17:30 (予定)

場 所 東北大学大学院工学研究科総合研究棟

発表形式 口頭発表 12 分 (A4 版 2 ページの要旨作成有り)・質疑応答 3 分間、またはポスター発表 (ポスター A1 版、概要 300 字以内作成有り)。プログラムは支部 HP にて後日お知らせします。

参加費 社会人 2000 円、学生 500 円 (要旨集代) 当日支払い

東北支部 HP <http://jswetohoku.web.fc2.com/>

問い合わせ先 東北大学・北條俊昌

E-mail : toshimasa.hojo.b5@tohoku.ac.jp
Tel : 022-795-7466

**平成 29 年度日本水環境学会九州沖縄支部
研究発表会・総会**

主催 日本水環境学会九州沖縄支部

期日 2018 年 3 月 10 日 (土)

場所 国立大学法人熊本大学黒髪キャンパス仮設校舎 (B 棟・F 棟) (熊本市中央区黒髪 2-39-1)

プログラム (予定)

9:30~ 受付
10:00~12:00 一般講演 (1)
12:00~12:30 昼休憩
12:30~13:00 支部総会
13:20~16:20 一般講演 (2)
16:30~17:00 閉会式 (表彰式を含む)

参加費 研究発表会 2,000 円 (資料代 当日)

参加・研究発表の申込および講演集原稿の提出方法

支部ホームページの参加申込書 (別紙 1) に必要事項

をご記入の上、郵送もしくはメールにてご提出ください。研究発表を行う場合は、研究発表申込書 (別紙 2) および講演集原稿を発表件数 1 件につき 1 部ずつ作成し期限内にご提出ください。申し込み用紙・講演集原稿執筆要綱は九州沖縄支部のホームページからダウンロードできます。

参加申し込み・研究発表申し込み・講演集原稿提出締め切りは 2018 年 2 月 9 日 (金) です。

なお、発表プログラム等の最新情報は九州沖縄支部のホームページ (<http://www.jswe-kyusyu.com/index.html>) に掲載予定です。

優秀講演者表彰

学生を対象とした優秀講演者表彰を実施します。

申し込み・問い合わせ先

国立大学法人熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 濱 武英
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
プレハブ B 棟 119
Tel : 096-342-3495
E-mail : hama @ kumamoto-u.ac.jp

第 52 回水環境フォーラム山口

主催 日本水環境学会中国・四国支部山口地域分科会

共 催 全国環境研協議会中国・四国支部

期 日 2018 年 1 月 27 日 (土) 13:00~17:30
(12:30 受付開始)

場 所 山口県セミナーパーク研修室 206
(〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062)

プログラム

「宇宙データ利用による水環境モニタリング」

山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター
副センター長 長井正彦

「しんかい 6500」の秘密と深海の世界

国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
広報部 柴田 桂

「顕微鏡下の多様な生物たちと水環境」

岩国市ミクロ生物館 館長 末友靖隆

「太田川河口干潟の底質環境と底生生物の分布」

広島県立総合技術研究所保健環境センター環境研究部
主任研究員 後田俊直

「水中の有機化学物質分析の為に迅速前処理カートリッジの開発と展開」

広島県立総合技術研究所保健環境センター環境研究部
主任研究員 木村淳子

情報交換会

17:30~19:30 山口県セミナーパーク交歓室

参加申し込み方法

講演会、情報交換会のそれぞれについて E-mail または Fax でお申し込みください。

参加申込締切

2018年1月19日(金)

参加費

参加費：無料

資料代：一般500円

情報交換会：4,000円

※学生は資料代無料です。

申し込み・問い合わせ先

山口県環境保健センター環境科学部 谷村, 恵本
〒753-0814 山口市朝田535

Tel: 083-924-3670 Fax: 083-924-3673

E-mail: emoto.yuu@pref.yamaguchi.lg.jp

2017年度 日本水環境学会東北支部
第4回「水辺のすこやかさ指標」ワークショップ
～「水辺のすこやかさ指標」の
Webアプリ作成に向けて～

主催 日本水環境学会東北支部

水辺のすこやかさ指標研究会

期日 2018年3月6日(火) 13:00～16:30

場所 東北工業大学一番町ロビー 2Fホール
(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル)

プログラム

開会挨拶 13:00～13:10

【第一部】13:10～15:10

話題提供

「水環境健全性指標のための情報共有プラットフォームの機能検証」 青森大学 角田 均

「水環境健全性指標を活用するための携帯アプリの開発について」(仮題) (株)日水コン 清水 康夫

「Web型マップアプリを用いた水辺のすこやかさ指標の活用事例」(仮題)

元青森県環境管理事務所 三上 一

「市民と行う水辺のすこやかさ指標を用いた梅田川調査」

東北工業大学 矢野 篤男

休憩 15:10～15:20

【第二部】15:20～16:20

総合討論

閉会挨拶 16:20～16:30

参加 どなたでも参加は自由です。

参加費 無料

問い合わせ先

東北工業大学環境エネルギー学科 矢野 篤男

Tel: 022-305-3961

E-mail: yano-t@tohtech.ac.jp

The IWA World Water Congress & Exhibition
IWA 世界水会議 (IWA2018 TOKYO)

主催 IWA (International Water Association)

期日 2018年9月16日(日)～21日(金)

場所 東京ビッグサイト (東京)

詳細 URL <http://worldwatercongress.org/>

IWA 2018 参加登録費助成予定のお知らせ

IWA 2018 TOKYOにおける研究発表者に対して会議参加登録費の助成を予定しています。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、国際会議への参加が難しかった方々が、IWA 2018に奮って発表応募されることを期待しております。助成応募要項等の詳細は今後の学会誌会告、本会ホームページ等にて追ってお知らせいたします。

助成内容 会議参加登録費の全額または半額

助成人数 10名程度(予定)

IWA-YWP Water-Wise Innovation Challenge!
～Mission for Phnom Penh Cambodia～

主催 Japan-YWP

期日 2018年1月28日(日) 10:00～17:30

場所 京都大学 百周年時計台記念館

(京都市左京区吉田本町)

プログラム

SDG 6に掲げる持続可能な水環境の達成に向けて、カンボジア国プノンペン市を対象に、革新的なアイデアを口頭発表で競うイベントを開催いたします。また、SDGsやアジア諸国における水環境についての特別講演や水環境に関わる研究や調査、活動をテーマにポスター発表会を実施いたします。発表の言語は英語となります。

申し込み方法 シンポジウムHPからお申し込みください。

参加申込締切 2018年1月15日(月)(事前参加申込み) 当日会場でもお申し込み可能です。

参加費 無料

詳細 URL <http://ywpwater.p2.weblife.me/>

問い合わせ先

Japan-YWP

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

Tel: 03-3817-7257

E-mail: iwaywp_water_wise2018@googlegroups.com

環境試料の多環芳香族炭化水素分析講習会

主催 金沢大学環日本海域環境研究センター

期日 2018年1月19日(金)

場所 金沢大学環日本海域環境研究センター実験室

(石川県金沢市角間町)

プログラム

1. 環境中の PAH の概要 (講義) 2. 大気試料: ①粉塵捕集方法 (エアサンプラー), ②フィルターの秤量・保存方法, ③フィルターからの抽出・精製方法 3. 水試料: ①海水・河川水の採水方法, ②フィルター・カートリッジによる捕集・精製方法 4. HPLC (高速液体クロマトグラフ) 法: ①装置構成, ②移動相調製とコンディショニング, ③内標準溶液, ④定量の考え方

申し込み方法 氏名, 所属を添えて下記申し込み先まで連絡ください。

参加申込締切 定員 (8 人) になり次第締め切ります。

参加費 無料

詳細 URL <http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>

問い合わせ先 金沢大学環日本海域環境研究センター (唐寧)

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel: 076-234-4455

E-mail: n_tang@staff.kanazawa-u.ac.jp

第 30 回 CES21 講演会 水処理技術の基礎と実践 —排水処理から有価物回収まで—

主催 化学工学会関西支部 CES21

協賛 日本水環境学会

期日 2018 年 2 月 2 日 (金) 10:30~16:40

場所 大阪市立大学文化交流センター
(大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6F)

プログラム詳細 URL

<http://www.kansai-scej.org/2017/h30ces.html>

申し込み方法

第 30 回 CES21 講演会と題記し, 氏名と連絡先を記入の上, E-mail または Fax でお申し込みください。

参加申込締切

定員 60 名になり次第締め切り

参加費 主催・協賛団体会員 12,000 円, 大学・官公庁 7,000 円, 学生 3,000 円, 会員外 16,000 円

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4

大阪科学技術センター 6 階

Tel: 06-6441-5531 Fax: 06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org

17-1 高分子と水・分離に関する研究会 2017 年度界面動電現象研究会 コロイドと高分子の科学の歴史を考える

主催 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会

期日 2018 年 3 月 6 日 (火)

場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 119 会議室
(東京都文京区大塚 3-29-1)

プログラム <http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~colloid/research-unit/elkinjp20180306.pdf>

申し込み方法 <https://www.spsj.or.jp/entry/>

参加申込締切 2018 年 3 月 6 日 (火)

参加費 企業 10,800 円, 大学・官公庁 5,400 円, 学生 2,160 円, 高分子と水・分離に関する研究会メンバー無料

詳細 URL <https://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=1285>

問い合わせ先

高分子学会 17-1 高分子と水・分離に関する研究会

〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F

Tel: 03-5540-3771 Fax: 03-5540-3737

第 20 回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会

協賛 日本水環境学会, 他

期日 2018 年 5 月 26 日 (土), 27 日 (日)

場所 フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンター

◎大会の内容: 1. 一般講演 (口頭発表, ポスター発表)

2. シンポジウム (一般, ミニ) (発表者はマリンバイオテクノロジー学会員に限ります。)

◎一般講演のセッション: 1. 微生物 2. 微細藻類 3. 海藻・付着生物 4. 魚介類 5. 天然物化学・未利用資源 6. バイオミネラルゼーション 7. 環境・環境適応 8. その他 ※それ以外は詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法 詳細はホームページでご確認ください。

事前参加申込締切 2018 年 4 月 27 日 (金) ※当日参加も可

参加費 会員 6,000 円 学生 3,000 円 ※協賛いただきました学協会の会員の方は, 当学会員と同等の参加費で参加いただけます。

詳細 URL <http://marinebiotechnology.jp/>

問い合わせ先

第 20 回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学農学部内

第 20 回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会

E-mail: mbt2018@cc.miyazaki-u.ac.jp

(お問い合わせ等は E-mail でお願いします。)

お知らせ

平成 29 年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は, 水環境関連分野の学術の発展に功績があった, あるいは本会に対し特に功労があった満 70 歳以上の会員を, 総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員

推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

平成 29 年度「学会賞」、「学術賞」 の受賞候補者の推薦について（募集）

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（平成 29 年度）において満 60 歳をこえる者
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書（2,000 字以内）、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書（2,000 字以内）、④参考資料等（論文、著作の一覧等）、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2018 年 3 月 2 日（金）

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

（公社）日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係

E-mail：info@jswe.or.jp

平成 29 年度「論文賞」および「論文奨励賞」の 受賞候補者の募集について

これらの賞の選考については、論文賞および論文奨励賞選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり、会員各位からのご推薦を期待しています。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせ

ください。

1. 応募要件

〈論文賞〉

水環境分野における学術・技術的に優れた一連の研究に基づく論文を発表した会員個人に対して贈られます。

- 1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（平成 29 年度）の 4 月 1 日現在において満 40 歳以上の者
- 2) 対象論文：本学会誌（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology）、国際水協会誌（Water Research, Journal of Water Supply: Research and Technology - AQUA, Water Science and Technology, Water Science and Technology: Water Supply, Journal of Hydroinformatics, Journal of Water and Health, Journal of Water and Climate Change, Journal of Water Reuse and Desalination, Journal of Water Sanitation and Hygiene for Development, Hydrology Research, Water Practice and Technology, Water Policy, Water Quality Research Journal, Water Resources and Rural Development, Water Resources and Economics, Water Resources and Industry, Sustainability of Water Quality and Ecology）に、平成 29 年 12 月までの 3 年間に公表された審査付論文

〈論文奨励賞〉

水環境に関する研究が独創的であり、将来を期待される会員個人に対して贈られます。

- 1) 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（平成 29 年度）の 4 月 1 日現在において満 40 歳未満の者
 - 2) 対象論文：本学会誌（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology）、国際水協会誌（Water Research, Journal of Water Supply: Research and Technology - AQUA, Water Science and Technology, Water Science and Technology: Water Supply, Journal of Hydroinformatics, Journal of Water and Health, Journal of Water and Climate Change, Journal of Water Reuse and Desalination, Journal of Water Sanitation and Hygiene for Development, Hydrology Research, Water Practice and Technology, Water Policy, Water Quality Research Journal, Water Resources and Rural Development, Water Resources and Economics, Water Resources and Industry, Sustainability of Water Quality and Ecology）に、平成 29 年 12 月までの 2 年間に公表された審査付論文
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②論文名、掲載雑誌名（巻号、ページ数を含む）、③推薦理由書（1,000 字以内）、④参考資料等、⑤推薦者の氏名、住所、所属（すべての提出書類の書式は自由です）

3. 提出期限：2018年2月23日（金）
 4. 提出先：〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
 グリーンプラザ深川常盤201号
 （公社）日本水環境学会「論文賞および論文奨励賞」係
 E-mail：info@jswe.or.jp

平成29年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について（募集）

本会では、水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に技術賞を、また、水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に技術奨励賞を設け表彰しております。なお、技術賞および技術奨励賞受賞者（または団体）は、6月に開催される日本水環境学会総会会場にて表彰され、本学会誌に受賞者（または団体）とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞および技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。なお、参考までに過去5年間の技術賞受賞テーマ一覧および過去3年間の技術奨励賞受賞テーマを掲載いたします。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類は正1部、副11部を提出してください。

- (1) 応募区分（技術賞または技術奨励賞を選択）
- (2) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (3) 対象とする技術または調査研究（40字以内）
- (4) 推薦者の推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し技術奨励賞では実用化への取組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (5) 推薦者（氏名、住所、所属等）
- (6) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期間 2018年1月4日（木）～3月2日（金）

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
 グリーンプラザ深川常盤201号

（公社）日本水環境学会

「技術賞および技術奨励賞」係

[参考] 過去5年間の技術賞受賞テーマ

平成28年：浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術

- 平成27年：グラニュールを利用した高速窒素排水処理システム
 オキシデーシオンディッチ法における二点DO制御システム
 平成26年：包括固定化技術を用いたアナモックス反応による窒素処理技術
 平成25年：メタン発酵法を用いたコーヒー粕・茶粕・汚泥のバイオガス化技術
 平成24年：深層酸素供給装置を用いたダム・湖沼深層水への酸素供給技術
 技術奨励賞受賞テーマ
 平成28年：下水処理施設由来の多面的環境負荷の統合評価手法
 洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発
 平成27年：鉄バクテリア法を用いた地下水中の鉄・砒酸・亜砒酸の同時除去技術
 水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法
 平成26年：浄水セラミック膜ろ過システムを用いた藻類障害対策技術の開発
 海淡・下水再利用統合システムの開発

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優秀な国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外を対象とするシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

助成金額 30万円（上限）

助成期間 2018年4月1日（日）～2019年3月31日（日）

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）又はE-mail（kubota@jswe.or.jp）で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名，会員番号，連絡先住所，TEL，Fax，E-mail，所属，略歴，研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4，1ページ程度）
- 活動の内容を示す計画書（目的，計画，期待される成果を含め A4，2ページ程度）
- 必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金を含む）と本会からの助成希望金額を明記してください）

提出期限 2018年1月15日（月）必着

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

（公社）日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会
（簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください）

E-mail (kubota@jswe.or.jp) での提出も可（件名に「水環境国際活動賞」と記載してください）

合否通知 選考結果については，2018年2月までに応募者に通知致します。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し，学会へ提出していただきます。

**2018年度とうきゅう環境財団
多摩川およびその流域の環境浄化に関する
研究・活動助成の募集**

募集期間 2018年1月19日（金）消印有効

応募資格 学識経験者の方はもちろん，一般の方でも助成対象にあった研究および活動で，意欲のある方であれば，どなたでもご応募いただけます。

助成対象 多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究，応用研究，環境改善計画のための研究

詳細 URL <http://www.tokyuenv.or.jp/invite>

応募方法 所定の申請書に記入捺印の上郵送

問い合わせ先

（公財）とうきゅう環境財団

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-16-14

渋谷地下鉄ビル 5F

Tel：03-3400-9142 Fax：03-3400-9141

E-mail：info@tokyuenv.or.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は，国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>